

[成果情報名]長崎県内の主要なイチゴ産地における収穫後期に発生するアザミウマ類の種構成

[要約]県内 10 地域 36 調査圃場の内 33 圃場において、ヒラズハナアザミウマが優占種であり、長崎県における 4 月下旬以降の主要な果実加害種はヒラズハナアザミウマである。

[キーワード]イチゴ、アザミウマ類、種構成

[担当]長崎県農林技術開発センター・環境研究部門・病虫害研究室

[連絡先]電話 0957-26-3330

[区分]野菜

[分類]指導

[作成年度]2016 年度

---

### [背景・ねらい]

本県の主要園芸品目であるイチゴではアザミウマ類による果実被害が問題となっており、特に気温が高まり個体数が増加する 4 月以降に被害が増大する。

一方、本県は現在主力品種の「さちのか」から収量性に優れる「ゆめのか」への転換を図っているが、「ゆめのか」は 5 月以降の果実品質もよいことから収穫延長による増収が期待でき、栽培技術確立に向けた試験研究が実施されている。しかし、収穫延長するとアザミウマ類の被害がさらに増加する可能性があり、暖候期のアザミウマ類の防除体系の確立がより重要になる。また、アザミウマ類は種により薬剤の防除効果や発生部位が異なる場合があり、発生種に応じた防除を行う必要がある。そこで今回、アザミウマ類に対する体系的な防除技術を確立するため、4 月下旬以降の県内各地のイチゴに寄生するアザミウマ類の種構成を明らかにする。

### [成果の内容・特徴]

1. 県内 10 地域における 2 カ年の調査の結果、36 調査圃場の内 33 圃場において、ヒラズハナアザミウマが優占種である（表 1～2）。
2. 県内 10 地域における 2 カ年の調査の結果、36 調査圃場の内 2 圃場において、ミカンキイロアザミウマが優占種である（表 1～2）。
3. 栽培様式や周辺環境と発生種ならびに優占種の関係は認められない（表 1）。

### [成果の活用面・留意点]

1. アザミウマ類の種構成は年次や季節により変動する可能性がある。
2. ハナアザミウマが優占種の圃場が 1 圃場あったが、ハナアザミウマがいちご果実に被害をもたらすかどうかは不明である。

[具体的データ]

表1 アザミウマ類の種構成(2016年)

採集日	地域(市)	場所	品種	栽培様式	周辺環境	発生状況	種別割合(%)				
							ヒラズハナ アザミウマ	ミカンキイロ アザミウマ	ネギ アザミウマ	ハナ アザミウマ	その他
5月31日	長崎	日吉	ゆめのか	地床	雑草	少	52.4	2.4	33.3	0	11.9
				地床	いちご	中	27.2	56.0	7.2	2.4	
				地床	いちご、びわ	中	48.3	31.0	6.9	0	6.9
5月25日	西海	西彼	ゆめのか	高設	雑草	中	94.4	0	0	4.2	1.4
				高設	雑草	多	96.2	0	0.9	0	2.8
				高設	雑草	多	95.5	0	0	2.7	1.8
6月3日	大村	萱瀬	ゆめのか	高設	いちご	少	84.1	3.7	0	11.0	1.2
				地床	いちご	多	87.4	3.6	0	9.0	0
				高設	麦	多	99.1	0	0	0	0.9
5月25日	南島原 (東部)	西有家	ゆめのか	地床	いちご	多	93.6	0	3.8	1.3	1.3
				地床	いちご、たばこ	少	16.1	79.3	0	0	4.6
				地床	いちご、たばこ	多	78.0	21.1	0	0	0.9
5月25日	南島原 (南部)	北有馬	ゆめのか	高設	いちご、麦	少	77.8	13.9	2.8	0	5.6
				地床	トマト、いちご	多	98.0	2.0	0	0	0
				高設	アスパラ、いちご	多	97.6	1.6	0	0	0.8
6月2日	平戸	大野	ゆめのか	地床	たまねぎ、米、フロッキー	多	13.4	0	0	86.6	0.0
				地床	たまねぎ	少	84.5	0	10.7	0.0	4.8
				高設	いちご	少	90.5	0	0	1.2	8.3
6月2日	壱岐	石田	ゆめのか	地床	いちご	多	93.0	2.0	5.0	0	0
				高設	メロン	中	94.1	0	5.0	0	1.0
				高設	いちご	多	80.1	0	19.3	0.6	0

※ 採集・同定方法：1圃場あたり2～4ヶ所で花を採集し50%アルコール液で洗浄後、アザミウマ雌成虫を  
実体顕微鏡下で同定した。

表2 アザミウマ類の種構成(2015年)

採集日	地域(市)	場所	品種	栽培様式	種別割合(%)				
					ヒラズハナ アザミウマ	ミカンキイロ アザミウマ	ネギ アザミウマ	ハナ アザミウマ	その他
5月22日	諫早	飯盛	ゆめのか	高設	88.5	0	7.1	0	4.4
				高設	94.6	0	3.6	0	1.8
				高設	52.1	0	46.9	0	1.0
				高設	95.1	0	4.9	0	0
				高設	75.0	15.6	3.1	0	6.3
4月24日	雲仙	国見	さちのか	地床	98.6	0	1.4	0	0
				地床	82.1	3.6	7.1	0	7.2
				地床	72.8	27.2	0	0	0
				地床	86.7	13.3	0	0	0
				高設	95.8	4.2	0	0	0
5月1日	佐世保	吉井	ゆめのか	高設	100	0	0	0	0
				高設	95.6	0	0	2.2	2.2
				地床	100	0	0	0	0
				高設	85.9	0	0	0	14.1
				高設	100	0	0	0	0

※ 採集・同定方法：表1に同じ

[その他]

研究課題名：単収日本一を目指したイチゴ「ゆめのか」の増収技術確立  
 予算区分：県単  
 研究期間：2016～2018年度  
 研究担当者：植松綾子、藤友加里、陣野泰明